

鳥取の良さは自然と絆

男性の育児参加意識に実態伴わず

子育て本紙100人モニター調査

平成26.1.26

鳥取県内の子育て支援について6割が「充実している」と答えた本紙100人モニター調査。子育て環境で良い点(複数回答)は、自然の豊かさが83・2%と最多。続いて、親族の支援の受けやすさや地域のつながりを挙げる声が多く、地域全体で子育てする「絆の強さ」が鳥取の良さとして浮かび上がった。一方、「子育て王国」を推進する県の取り組みは認知不足が浮き彫りに。男性の育児参加についても、意識と実態の乖離がみられた。

子育て環境の良さに「子育て王国」を推進している「自然環境」を挙げた人は、全世代通じ一人が29・5%、「保健医療の充実」も23・2%と、社会福祉サービス「子育てしやすい環境」といっ

回答も8・4%あった。県が制定を目指す子育て王国条例の認知度は半数以下。加えて、毎月19日を「とっとり育児の日」と定めて早めの帰宅や家族のだんらんを推奨していることについては、82・1

平均4時間23分家事や子育てに費やすのに対し、夫は34分。妻が専業主婦の場合は、妻が8時間19分、夫は59分となっている。

「育児は男女問わず夫婦でやるもの」という意識の浸透とは裏腹に、仕事に追われるなどして十分に育児に参加できていない父親の現実がある。自治体に求める支援策として「仕事との両立」が最も多いことも踏まえ、行政の一層のこ入れや、企業の意識改革が求められる。

◇100人モニター調査結果◇

1 鳥取県は「子育て王国」を推進していますが、子育て環境でよいところは(複数回答)

- ①自然環境 83.2%
- ②親や親族の支援が受けやすい 47.4%
- ③地域のつながりが強い 39.0%
- ④保育所が充実 29.5%
- ⑤保健医療が充実 23.2%
- ⑥保育料や医療費が比較的安い 21.1%
- ⑦支援センターなどが充実 20.0%
- ⑧学童保育が充実 16.8%
- ⑨不妊治療支援が充実 1.1%
- ⑩その他 3.2%
- ⑪子育てしやすい環境だと思わない 8.4%

2 県を含め、県内の自治体の子育て支援は充実していると思いますか

- ①強く思う 13.7%
- ②やや思う 44.2%
- ③あまり思わない 17.9%
- ④全く思わない 0%
- ⑤分からない 24.2%

3 子育て支援で自治体がもっと力を入れるべき施策は何ですか(複数回答)

- ①育児と仕事の両立支援 60.0%
- ②子育て世代への経済的援助 48.4%
- ③保育所の充実 32.6%
- ③障害のある子どもや保護者の支援 32.6%
- ⑤医療機関の充実 29.5%
- ⑥学童保育の充実 28.4%
- ⑦一人親への支援 25.3%
- ⑧婚活支援 21.1%
- ⑨不妊治療助成 16.8%
- ⑩その他 11.6%

4 県が「子育て王国とっとり条例」の制定を目指していることを知っていますか

- ①知っている 47.4%
- ②知らない 52.6%

5 県が毎月19日を「育児の日」と定めていることを知っていますか

- ①知っている 17.9%
- ②知らない 82.1%

6 男性も積極的に子育てすべきだと思いますか

- ①強く思う 45.3%
- ②やや思う 51.6%
- ③あまり思わない 2.0%
- ④全く思わない 0%
- ⑤分からない 1.1%

「イクメン」という言葉が市民権を得て久しい中、男性が積極的に子育てすべきと考えた人は96・9%に上った。半面、2011年度の県内の男性の育児休業取得率は3・1%。総務省の社会生活基本調査結果によると、県内の共働き子育て世帯では、妻が一日平均4時間23分家事や

育児などに費やすのに対し、夫は34分。妻が専業主婦の場合は、妻が8時間19分、夫は59分となっている。

「育児は男女問わず夫婦でやるもの」という意識の浸透とは裏腹に、仕事に追われるなどして十分に育児に参加できていない父親の現実がある。自治体に求める支援策として「仕事との両立」が最も多いことも踏まえ、行政の一層のこ入れや、企業の意識改革が求められる。